

有害プランクトン情報

(令和4年度 - No. 3)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

○ 調査日	沖合	6月 第1回	内湾 (8地点)	6/8	内房 (7地点)	6/7
		6月 第2回	内湾 (8地点)	6/21	内房 (7地点)	6/20
	貝類漁場内	九十九里	6/2, 13, 14, 21, 27 (生産技術研究室が担当)			
		鴨川	6/13 (生産技術研究室が担当)			
		千葉北部	6/6, 20	木更津北部	6/13, 22	
		木更津南部	6/8, 21	富津	6/23	

東京湾(内湾)**【有害プランクトンの出現状況】**

- 有害プランクトンとして確認しているシャットネラ属、シュードシャットネラ属、ヘテロシグマ属、カレニア属は確認されませんでした。
 - ※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH 8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上) が第2回目の調査で確認されました。
 - ・ 6/21 内湾北部 (羽田沖～千葉沖) で確認。
渦鞭毛藻類 (プロロセントラム属) と珪藻 (スケルトネマ属) の混合赤潮

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 沖合, 貝類漁場とも確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 沖合漁場および貝類漁場内 (千葉北部) でディノフィシス アキュミナータがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 6/8 富津沖を除く内湾全域 (沖合) 最高密度はアクアライン北部の 0.6 細胞/mL
 - ・ 6/20 千葉北部 (貝類漁場) 密度は 1.1 細胞/mL
 - ・ 6/21 内湾全域 (沖合) 最高密度は船橋沖の 1.3 細胞/mL
 - 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 6/21 千葉沖 (沖合) 密度は 0.05 細胞/mL
 - 貝毒の被害情報はありませんでした。
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)**【有害プランクトンの出現状況】**

- 有害プランクトンは確認されませんでした。
- 赤潮は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 沖合, 貝類漁場とも確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 6/7 浦賀沖 (沖合) 密度は 0.05 細胞/mL

- 貝類漁場では、いずれのプランクトンも確認されず、貝毒の被害情報もありませんでした。
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

九十九里海域(旭～一宮沖貝類漁場)

【有害プランクトンの出現状況】

- 有害プランクトンは確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - ディノフィシス アキュミナータは、九十九里(貝類漁場)で毎回は確認されました。低密度ですが、注視が必要です。6/2 0.10 細胞/mL, 6/13 0.35 細胞/mL, 6/14 0.05 細胞/mL, 6/21 1.10 細胞/mL, 6/27 0.35 細胞/mL
 - ディノフィシス フォルティは、九十九里(貝類漁場)で6/21に確認されました。低密度(0.05 細胞/mL)ですが、注視が必要です。
 - その他のディノフィシス属は、九十九里(貝類漁場)で6/14に確認されました。低密度(0.05 細胞/mL)ですが、注視が必要です。
 - いずれも貝毒の被害情報はありませんでした。
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

鴨川海域

【有害プランクトンの出現状況】

- 有害プランクトンは確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
 - 貝毒の被害情報はありませんでした。
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

<p>○ 各海域で見られたプランクトンの優占種</p> <p>6/7-8 内湾・内房 珪藻タラシオネマ属, スケレトネマ属, 渦鞭毛藻プロロセントラム属, など</p> <p>6/20-21 内湾・内房 珪藻タラシオネマ属, 渦鞭毛藻プロロセントラム属, など</p>		<p style="text-align: center;">調査点</p> <p style="text-align: right;">● プランクトン調査点 ▲ 貝類漁場内</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>タラシオネマ属 (6/8 富津)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>プロロセントラム属 (6/8 アクア南)</p> </div> </div>		
<p>連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所 〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp</p>		